



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「言葉より行動を」	“Talk Less, Do More”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」	“Start Future Now”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」	“To walk together, echoing each other”
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動」	を今やってみよう！
金沢クラブ会長主題	“ Y's Be Ambitious !!”	

2014 12 月間強調 EMC - E ・ YES

12月強調月間

今月の聖句

EはExtension(新クラブ設立)。YESは、新クラブ設立を支援する基金です。この献金で集められた資金の2/3は集められたエリアに戻され、エリアの中で使われます。

河原正浩 EMC 事業主任(京都トップスクラブ)

(前略)人々は皆、登録するために各々自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。(中略)マリヤは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼ひ葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。 ルカによる福音書2章1節～7節

12月例会プログラム

とき	2014年12月18日(Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥4,000(会員不要) ¥2,000(メット)
	司会 山本達也君
開会・点鐘	清水淳会長
主 題	司 会 者
ワイズソング	一 同
讚美のとき	司 会 者
メッセージ	日本基督教団 金沢教会 井ノ川勝牧師
食前の感謝	藤井辰男君
親睦のとき	メ ネット 会
	ハッピーバースデー・ゲーム 等
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム(YMCA国際協力募金に協力)	金沢犀川クラブ
Y M C A の 歌	一 同
閉会・点鐘	金沢犀川クラブ 澤瀬諭会長

11月 クラブ活動状況

第1例会(11月20日 Thu.)

メ ン	伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、西、山内、山本	(8名)
メキヤップ	藤井	(1名)
出席率	100%	
メネット	伊藤、数沢	(2名)
ゲスト	アラーさんご一家	(5名)

第2例会(11月1日 Sat.)

メ ン	数澤、清水、澁谷、藤井、山内、藤井	(6名)
メネット	数澤	(1名)

ニコニコタイム	9,500円
クラブファン ド 累計	49,500円

B F ポイント

切手	880g	累計	1,000g
現金	13,500円	累計	13,500円

第一例会	毎月第三木曜日 18:30~20:30
	金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
第二例会	毎月1日 18:30~20:00
	金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

会 長	清水 淳	書 記	山内ミハル
副会長	澁谷洋太郎	会 計	伊藤仁信
直前会長	幸正 一誠	メット会長	数澤淑子

我が家に松茸がやってきた

幸正 一誠

吾輩はノミである。

この紙面に登場するのも、ずいぶんご無沙汰である。

或る日の事、当家に鎮座まします御上様より主人に御命が下った。「帰省する長男夫婦に持ち帰らず、お野菜を買ってきてネ」そこで、主人は仕事途中に、J Aあなみずセンターに立ち寄り、御命に従い「白菜・だいこん」等を買込んだ。ふと見ると町の老人達がワイワイと騒いでいる。松茸である。ナントご立派な松茸！3本¥12,000也！主人の頭の中には松茸＝値段を見て驚く物、食べ物では無いとの概念がここ20数年あり、食する事無く、過ぎて来た。が、しかし、今日は違った。主人の松茸概念が179度回転してしまったのだ。あのご立派な松茸を見るや否や、松茸がナントお孫様とイコール関係になってしまった様子なのだ。早速、御上様に緊急ホットラインにて松茸を買う旨を問うたところ、「冗談でしょ！」御上様の松茸概念も主人同様であるらしい。そこで主人は考えた揚句こう言ったのである。「お孫様の為じゃ、東京タワー否スカイツリーから飛び降りた心算で、か・お・う・ぞ！！」主人としては歌舞伎の見え切り調で強く御上様に迫ったのだが、「何を大袈裟な！片町ナンバーワンビルから飛び降りても買えるでしょ！」との一言。この御言葉の説き明かしをK教会I牧師に依頼せずとも理解し、自らの財布より福沢先生のお出ましと相成ってしまった。その御物は当家の通り廊下に御物のわりには新聞紙に包まれて置かれ、主人は某所の行き帰りに鼻を近づけ「まったけの匂いや！」と何度も匂いを嗅ぎ感激仕切りである。

翌日、お孫様が「かえったで～」と愛犬と共に元気ご帰還。早速、主人は御物の新聞紙を彼の鼻先に宛がい品名を当てると迫る。数秒後お孫様の口より「まったけや～」と嬉しそな答え。でも、主人が「まったけやない、まったけだ！」とお孫様「ちゃう ま・つ・た・けやで！！」。まったけ・まったけ戦争の始まりである。この戦争の結果は主人1対敵陣4と圧倒的不利となり数秒後終結した。つぎに主人は松茸なんぞ知るはずが無いと高を括っていたので「何で知ってるんや？」と。嫁、曰く「スーパーでお目にかかっています。な！」と孫共々嬉しそである。長男に至っては「オレ、人生初食いやな～」。

前日、主人は御物をマジマジと見つめ如何なる料理を致そうかと思索。しかし、いくら思索しようとも、主人の頭の中には①松茸御飯、②炭火焼、これ以外思

いつかないのである。と言うよりこれ以外食べた事が無い。吾輩は主人が本棚の中で永眠中の料理本から探すのかと思いきや、何とパソコンに向かい検索を始めるではないか？主人も進化した者である。そこで、主人は発見した。松茸御飯は松茸のみで炊く事を！主人の実家では筍御飯の松茸バージョンであったので、目から鱗状態である。主人曰く「松茸オンリー？よし1本全部投入作戦開始だ」。御上様は別名を御台所と称し台所一切を仕切る。しかし、今回の作戦の総仕上げ「松茸さきの義」だけは、あの片町ナンバーワンビルから飛び降りた主人に敬意を払いその行為を譲ったのだ。次の、松茸御炊飯「スイッチ・オンの義」は御台所が為されたのであった事は言うまでも無い。時間と共に松茸の良い匂いが当家に充満する。匂いと共に全員集合。夕食開始。今日の主役は松茸と香箱カニ。しかし、今日のカニは可哀想である。何時もは「カニ美味し～いネ」となるが、今日は「カニも美味しいネ」となり一番ではなく二番の存在である。その松茸の2本目は『松茸の炭火焼 すだち添え』なる高級料亭の味に引けを取らない料理となり食べられた。さあ、残った一本だ。お孫様の一言「貰って帰るで～」。その一言で主人の酔が覚め、思わず「半分だけ」と言ったものの敵陣4名よりの非難の嵐に会い撃沈！

翌日、敵陣に和平交渉を提案し御物の4分の1の獲得に成功。その夜主人は一人焼松茸で一杯飲みながら、しみじみ思ったのだ。

あの、永谷園の「松茸のお吸い物」は本物だ！！

《滋賀蒲生野クラブ訪問記》

清水 淳

11月11日（火）滋賀蒲生野クラブの例会に参加させていただきました。

6月の合同例会に参加することができなかったので、少しでも早く訪問したいと思っていましたがうまく休暇が取れたため実現しました。

例会では管井恵子会長、三原茂晴ワイズ、三原静江ワイズが3月から100日を超える船旅「地球一周船旅」の報告がありました。

数多くの美しい風景の写真に三原茂晴ワイズの「進んで戻って脱線してまた進む」軽妙な語り口が加わって、を楽しい旅の様子が伝わってきました。旅の中で最も贅沢な船旅を超長期にわたり経験されたことはうらやましい限りです。いつの日か時間とお金がある時に、ぜひとも経験したいと思いました。

例会終了後も会員の皆さんと歓談の時間を持つことができました。来年の金沢での合同例会を皆さん楽し

みにされていました。

温かく迎えていただいたのと近江八幡の町を回ることができなかったのであらためてまた訪問したいと思います。

【11月例会報告】

11月例会には、10月芋煮会の時に知り合いとなったエジプト人の大学講師アラーさんの一家が参加してくださり、とても楽しい会となりました。

ご主人のアラーさん(金沢大学英語教師)、ご夫人のナゴさん、長男ハジム君(中学2年生、サッカー部)、長女アフアフさん(小学4年生)、次男アダムちゃん(5か月)の5人です。

当日のスピーチは、下記のように西メンご本人がまとめてくださいました。(文責 山内ミハル)

「国が考える水素社会実現への道」

西 信之

石油や石炭の燃焼によるCO₂やNO_x等の温室ガスの排出を抑制する国際的な「京都議定書」が1997年に国連の指導の下に締結され、2002年から効力を発することになったが、これは原子力発電の普及を前提とするものであった。しかし、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震とそれによる津波による福島原子力発電所の崩壊によって原子力発電は停止され、再び化石燃料の燃焼による火力発電に戻り、中国やインドでは深刻な大気汚染が国民を苦しめつつあり、更に海水温の上昇や湖の消失、スーパー台風の発生や頻繁な豪雨と洪水といった異常気象や災害を招き、地球上の生命体に危機的な状況を生み出しつつある。これをストップさせる為のエネルギー革命が必要となるが、太陽光や風力、地熱による自然エネルギー発電はコストや効率の問題があり革命の主力とはなりそうにない。

我が国では、水素ガスエネルギーによるCO₂を排出しない社会が実現する道が模索されている。経済産業省資源エネルギー庁は、2014年版・燃料電池戦略ロードマップを発表した。これは、水素の製造、輸送貯蔵、利用について、2015年から2040年ごろの完全脱化石燃料社会の実現に至る道筋を描いている。水素製造は、当面は天然ガス等を水素ガスに転換したり、コークス等の高温水蒸気加熱によって製造するので、CO₂の発生は避けられないが、石油や石炭の燃焼に比べてはるかに少量に押さえられる。最終的には水の自然エネルギーによる電気分解で製造する道が想定されており、ホンダ自動車は、小型の高圧水電解システムを搭載した家庭用次世代ソーラー水素ステーションの実証実験を2010年より開始し、燃料電池自動車の動力ばかりでな

く、家庭内の全ての電気の供給を可能としている。

水素利用では、水の電気分解による水素製造の逆反応過程である水素と空気中の酸素を触媒表面で反応させ、水が生じる過程で発生する電気エネルギーを取り出す燃料電池を活用するものであり、既に、家庭用のガス(メタン)を水素に変換し、発電を行うと同時に、この時発生する熱でお湯を沸かすという家庭用燃料電池「エネファーム」が市販普及しつつある。一方、トヨタ自動車は11月18日に4人乗りセダン型燃料電池車「MIRAI」を発表し、4ヶ月間に200台以上を発売する。アクセルを踏むと10秒以内に100km/hにまで加速出来るという優れものであるが、200万円強の補助金をもらっても500万円強という高価なものであり、主として水素ステーションの整った都市部の公的機関や富裕層を対象としている。ホンダが1年後に、日産が2年後に販売を開始する予定である。2020年の東京オリンピックの年には各社から300万円台で、2025年には200万円台での大衆車の発売が予定されており、2030年には現在のハイブリッド車並みの普及が予想されている。一方、発電は水素ガスタービン発電が2030年には軌道に乗ると予想され、これらが、我が国の経済活動を活発にさせると思われる。あと15年は生きたいものである。



~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆12月例会(クリスマス)のお知らせ

12月は主イエス キリストのご降誕をお祝いして、礼拝と祝会を持ちます。交換プレゼントとして1人1個(500円程度)の品物をご持参ください。

☆1月第二例会について

1月の第二例会は下記のように行います。
日時：2015年1月5日(月) 18:30～
場所：金沢ニューグランドホテル

☆次期会長・主査研修会について

日時：2015年3月7日(土)～8日(日)
場所：チサンホテル大阪

☆中部合同メネット会

日時：2015年4月25日(土)～26日(日)
場所：金沢 彩の庭ホテル

☆第3回中部評議会・EMC200 推進委員会

日時：2015年4月25日(土)

場所：金沢 彩の庭ホテル

☆第18回西日本区大会

日時：2015年6月13日(土)～14日(日)

場所：ハイアットリージェンシー大阪

1月の担当

ブリテン執筆：澁谷 洋太郎君
伊藤 悦子さん
卓話担当：山本 達也君

~~~~~ YMCAからのお知らせ ~~~~~

☆第18回 YMCA 大会

日時：2014年11月22日(土)～24日(祝)

場所：東山荘

テーマ：「BEYOND～越えてゆこう、出会うために」

参加予定：清水君

☆ユニセフ街頭募金について

日時：12月23日(火・祝日) 13:00～14:00

場所：堅町入口

Happy Birthday

メット 澁谷 節子さん 12月23日

~~~~~ × ネット報 ~~~~~

「2014年の終わりに」

2014年も早や年の瀬を迎えようとしています。我が人生も終焉とまではいかないまでも、少し先が見えてきたような気がする昨今です。先月2年ぶりのクラス会(小学校)が開催され出席したのですが、宴会に先だって2年の間に亡くなった数人の友を偲んで出席者一同で黙祷を捧げました。もうそんなお年頃なのかとしんみりしてしまいました。が、その1分後には再会を喜び合って大いに盛り上がったのも事実です。元気で生きているうちが華ということでしょうか。現時点では健康上も概ね良好の私、一部心配な部分もあるにはあるが、まだ人に迷惑をかけるほどでもないし(自己判断)、つける薬もなさそうなので成り行き任せというところです。今年も結構忙しく動きまわりました。健康なればこそと感謝しつつ、3回目となる復興ボランティアで今年は福島のいわき市へ行ってきました。福島は何と言っても地震、津波の被害に加えて原発事故が重く深刻です。実際に危険区域にある家には帰れず仮設住宅に住んでいる方や、家族を失くされた方と話す機会がありました。ただ一緒にお茶を飲んでお話を聴いただけなのですが、ぼつぼつ話される言葉のなかに計り知れない悲しみ、苦しみを背負って希望の見えない日々を過ごしておられることが伝わり、表面上は明るく訪問を喜んで下さるのですが、現実は何の力にもなれない無力感を感じながら今回は2か所訪問させて頂きました。

今年の大きなイベントとしては母方の「いとこ会」が9月中旬金沢で開催されたことです。亡母は9人兄弟でしたのでいとこの数も22名(内5名は故人)と半端な数ではなく、今回は特別参加の叔父、叔母、夫婦での参加を含めて17名が参集しました。広島、神奈川、

新潟など県外から11名、外は金沢在住です。初対面の従姉もあり、各地のお土産のやり取りも賑やかに、タイムスリップしたような楽しい一夜を過ごしたのです。その後、折角3姉妹揃ったついでに3人で旅をしようというわけで、長女の私が行き慣れている軽井沢なら案内できるからと、翌日から2泊3日でドライブに出かけました。気ままな女3人の気の向くまま、足の向くままのぶらり旅、途中、黒姫高原のコスモス畑に遊び、追分宿に寄って陶芸のギャラリーを観たり、古民家のおしゃれなカフェでお茶をしたり、翌日からは初秋の軽井沢を十分に楽しんだのでした。妹2人が9月生まれで内一人はホテルで丁度誕生日を迎えることになったので、ホテルにお願いしてディナータイムにハッピーバースデ이의サプライズをして頂きました。楽しいディナーがデザートに入る頃合いに照明が落され、バースデイケーキが運ばれ、ケーキ上の蝋燭の灯がゆれるなか、居合わせたレストランのお客様やスタッフにハッピーバースデ이의歌で祝福を受けました。妹たちにとって忘れられない誕生日となったようです。姉から2人へのプレゼントはその日星野エリアの「ハルニレテラス」で買い求めたおしゃれなルーペのペンダントです。清流沿いの100本以上の春楡の木を生かしたおしゃれで小さな街、「ハルニレテラス」は個性的なショップとレストランが軽井沢らしい雰囲気でも人気のエリアです。いつまでも元気でいられるようにと願いを込めて3姉妹がお揃いのルーペペンダントを胸に、無事にそれぞれの夫の待つ家へと帰ることが出来ました。“感謝”

(数澤 淑子 記)